

令和6年度事業報告書

令和6年4月1日から令和7年3月31日

特定非営利活動法人子どもシェルターモモ

1 事業の成果

令和6年度はモモの理念である子どもの権利擁護を基本に置いて、① 子どもシェルター「モモの家」の再開。② 組織強化に向けてホーム長会議の設置。③ 自立援助ホームに自立支援担当職員の配置。④ アフターケア事業の充実。⑤ 研修の充実。⑥ 社会福祉法人化に向けて始動。を目標に掲げて活動しました。

①「モモの家」は7月に新しい場所で再開し、8名の子どもが入居しました。② ホーム長会議を月1回定例化し、ホーム運営がモモ全体の運営の中にあることを再認識し、計画的に活動することや財政にも責任を持つことが出来るようになりました。

③ホームを退所した子どものケアを更にきめ細やかに行いました。④ アフターケア事業は岡山市から社会的養護自立支援拠点事業を委託され、市内の児童養護施設等との連絡会議を開き、施設の実情や課題を共有することができ始めました。

⑤ 研修はスーパーバイザーや専門家の協力で、個々のケースについてアドバイスを受けるなど今年度も充実した内容になりました。⑥ 残念ながら社会福祉法人化に向けては動きを作ることができませんでした。

また、財務に関しては遺贈で頂いた金員は基金として別会計にし、運営の実際が財務上からも見えるように改善しました。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名		事業内容		
子どもシェルター運営事業		子どもの緊急避難場所として子どもシェルター「モモの家」を運営。		
実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
令和6年7月 ～令和7年3月	非公開	4人	15歳から20歳くらいまでの緊急避難を要する 女子：利用者8名 (新規入居8名、退所7)	22,397

定款の事業名		事業内容		
自立援助ホーム運営事業		女子用自立援助ホーム「あてんぼ」の運営。虐待等の理由から家庭や施設等で生活できなくなった子どもたちが社会で自立して生活するための生活支援等を行った。		
実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
令和6年4月 ～令和7年3月	岡山市北区 法界院	4人	15歳から20歳までの自立を目指す女子：利用 者9名 (新規入所4名、退所3名)	24,097

定款の事業名		事業内容		
自立援助ホーム運営事業		男子用自立援助ホーム「学南ホーム」の運営。虐待等の理由から家庭や施設等で生活できなくなった子どもたちが社会で自立して生活するための生活支援等を行った。		
実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
令和6年4月 ～令和7年3月	岡山市北区 学南町	4人	15歳から20歳までの自立を目指す男子：利用 者9名 (新規入所4名、退所5名)	23,508

定款の事業名		事業内容		
児童養護施設等退所者に対するアフターケア事業		子どもシェルターや自立援助ホームを退所した子どもに対する「フォローアップ事業」、社会的養護経験者等の子ども・若者に対して「アフターケア事業」としてアフターケア事業所「e n」を開設。他のNPOや関係機関等と連携して、社会的養護経験者が社会的に自立した生活を送れるよう、居場所の提供、生活支援、就労支援、住居支援等を行った。		
実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
令和6年4月～令和7年3月	岡山市北区京町／岡町	17人	児童養護施設等を退所した子ども等：利用者のべ4,625件（支援対象実人数：退所前18名退所後83名）	17,636

定款の事業名		事業内容		
子どもの問題についての啓発活動		外部からの講演依頼があり、虐待が子どもに及ぼす影響や子どもの人権について多くの市民の理解を得ることができた。		
実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
令和6年4月～令和7年3月	岡山市内	2人	岡山県教育委員会人権教育課研修、生徒指導担当教員、小学校PTA、中国地方更生保護委員会等で講演。また4ロータリークラブで卓話。	0

定款の事業名		事業内容		
子どもの問題についての啓発活動		「ボランティアスタッフ養成講座」を対面で8講座行った。包括的性教育推進者、被虐待経験者、児相所長、精神科医を講師に現在の子どものが抱える問題への啓発を行った。		
実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
令和7年3月	岡山市内	5人	受講者延97人	319

定款の事業名		事業内容		
その他、この法人の目的を達成するために必要な活動		岡山県共同募金会「地域から孤独をなくそう」ささえあいプロジェクトとして、例月でケース検討会を行い、法人内外の関係職員と連携を強めた。またボランティア養成講座を開講し、外部より被虐待経験者、精神科医、福祉関係者、弁護士等の講師を招き、一般参加者を含め職員にとっても実りの多い学びの場を提供した。		
実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
令和6年4月～令和7年3月	岡山市内	3人	法人理事、職員	2,110

定款の事業名		事業内容		
その他、この法人の目的を達成するために必要な活動		遺贈による子ども基金（枝松百合子基金）として、当法人の各ホームに在籍している子ども、以前在籍したことのある子ども・若者に対して、お祝い金の支給や資金の貸付を行った。		
実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
令和6年4月～令和7年3月	岡山市内	3人	当法人のホームを利用した子ども・若者のべ13名	382